

学び続ける教師であるために

生徒指導についての講演と

教職大学院修了生による研究発表

日時：2023年12月2日（土）14時～17時

会場：三重大学教育学部1号館4階大会議室

開催趣旨

「令和の日本型学校教育」では教職や教員研修の高度化が目指されている。このたび教職大学院の修了生が中心となって主体的・協働的に「学び続ける教師」を支援する研究会を企画・設定した。教職大学院の修了生や在学生だけでなく、学校教員や教育委員会関係者をはじめとする教育関係者の皆様にとって専門的な知見を広げ深めるための機会としたい。

日時：2023年12月2日（土）14時～17時

会場：三重大学教育学部1号館4階大会議室

対象：教職大学院の修了生・在学生、公立・県立学校教員、附属学校園の教員、教育委員会関係者、教育関係者

参加申込：下の申込サイトからお申し込み下さい。

参加費は無料です。なお、会場の収容人員に限りがありますので、定員になり次第、参加申込を締め切らせていただきます。

申込サイト：<https://forms.gle/bJvymz2LzBw4RZmQA>

申込期限：11月24日（金）



プログラム

第一部 基調講演（14時～）

新『生徒指導提要』における発達支持的生徒指導の核心
— アセスメントに基づく授業改善と学級経営 —

講師：八並 光俊 先生

東京理科大学・教授
日本生徒指導学会・会長

講演概要

「生徒指導提要の改訂に関する協力者会議」の座長ならびにデジタルテキスト作成者という立場から、2022年12月に文部科学省より刊行された『生徒指導提要』の経緯と特色を述べて、今後の生徒指導の重点について指摘したいと思います。キーワードは、授業改善と学級経営の「基本に立ち返れ」です。

第二部 修了生の研究発表（16時～）

修了生による研究発表を行います。質疑応答では八並先生を交えてディスカッションを行います。